

柘植地域

まちづくりだより

第208号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 千五二九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
二〇一八(平成三十)年三月十五日(木)

柘植地域俳句コーナー
指相撲
子にせがまるる
日永かな
服部登紀子

ひな人形でつながりづくり

女性部会

2月28日から3月4日までの5日間、恒例の「第6回竹から生まれたおひな様」人形展を開催しました。

ピョンチャンオリンピクの様子や藤井聡太棋士が対戦をしている様子を再現したひな人形を中心に、こまかく並べた3000体を超すひな人形がところせましとレイアウト展示できました。

近くにあるステーション都美恵、山畑のしらふじの里、各種のサロン、柘植保育園などから団体でも見学に来てくれました。

新聞に取り上げられたこともあり、400人以上の方がご来場いただき、連日大盛況でした。



多数のご来場ありがとうございました

3月3日(土)に実施した、「斎王なりきり体験」には柘植地域以外の市内、市外からの方も含め10人以上の人にきらびやかな衣装を着用していただきました。



女性の活躍という点からのまちづくりにも関心をもっていたいただき、伊賀神戸から、大山田から、玉瀧から、甲賀からと、人のつながりをつくる場ともなりました。「作り方を教えてほしい」という依頼話もあり、今後、ますますおひなさまづくりを通じた、つながりづくり・まちづくりを考えていけるのではないのでしょうか。

この展示期間だけでなく、年間を通じた取組みを充実させていきたいと思っています。

現在、「柘植のまちに賑わいを」ということで、各所にも展示していただいています(2頁参照)。

春が本格化するまでもうしばらく、まちのあちこちで展示されてるおひな様を楽しんでいただき、まちに賑わいを創ればと思います。



柘植のまちに賑わいを事業
ひな人形展示協力箇所
<2018柘植の街手作りひな人形マップより>

- 岡鼻** 岡鼻の里
- 小林** 柘植駅、光林窯、中村屋
柘植タクシー、滋賀観光営業所
(株)まちだ、中村理容
- 柘植青葉台** ドルチェ
- 上町** 都美恵神社、つみえ家、油屋
大道精肉店、柘植駐在所
村田歯科、丸屋、ハートサービス
JA柘植ふれあい店
相互クリーニング店
杜のカフェいこいこ
ステーション都美恵、柘植小学校
伊賀サービスエリア、道の駅いが
柘植地区市民センター
- 下町** 柘植歴史民俗資料館、カラオケ華
柘植接骨院、柘植電気
村主新聞店、紀平医院
北伊勢上野信用金庫柘植支店
フラワー薬局、松岡洋品店
中橋自動車、石河印刷
ヘヤーサロン福川、理容清水
半田美容室、テルミ美容室
柘植郵便局
柘植保育園、柘植中学校
- 倉部** 余野公園管理事務所、アゼリア
- 小杉** 小杉区高齢者等活性化センター
- 山出** 伊賀の小屋組みの家
- 前川** いがまち人権センター
老人憩いの家
- 野村** 藪本鉄工所、丹羽美容室
デイズ美容室
- 中柘植** 鈴木板金、旅籠屋

みなさんの感想をお待ちしています。

女性部会



撮影：松山宗達さん

**農業振興地域の指定見直し(編入・除外)
補助制度への対象化や農地
転用抑制も見込んで…**



2月28日(月)午前、柘植地
域内の「農業振興地域整備計画」
の総合的な見直しに係る協議を
次の4名の方で実施していただきました。

柘植地域農業委員 <下写真、右から2人目>
松山隆治さん(小杉区より)
農地利用最適化推進委員



<下写真、右から3人目より順>
杉本廣行さん(野村区より)
橋本文典さん(岡鼻区より)
林伸也さん(前川区より)

この計画は、「農業振興地域の整備に関する法律(農振法)」により農地の保全及び農業振興施策の計画的な実施のために伊賀市が定める計画です。

おおむね5年ごとに基礎調査を行って、今回、区を単位とした地域からの申し出を受けて、農業委員さんらに協議をしていただくことになりました。(関連記事203号参照)

その後、土地改良区との協議も行った後、まちづくり協議会から伊賀市農林振興課に変更案を提出いたしました。今回は、小杉区からの1件(除外)だけでしたが、将来の柘植地域の農業に関しては、不安定な要素が多くあります。耕作放棄地の増加、相続の問題など4名様の話し合いにおいても多くの課題が話し合われました。



25人の

物語はここから始まる...



3月8日(木)午前、柘植中学校卒業式が中学校校体育館で開催されました。保護者をはじめ、市議会議員、まち協役員、各区の区長ほか関係者らが見守る中、卒業生25名が、一人ひとりの将来の夢やこれからの生き方をメッセージにして発表しました。柘植地域で育ったことを糧にこれからの人生を歩んでください。



育ったことを糧にこれからの人生を歩んでください。



…つつじ祭り…
5月13日(日)に決定!

つつじ祭りに向けて…

2月23日(金)夜、伊賀市商工会館にて、第31回余野公園つつじ祭りの第1回運営委員会が開催され、まちづくり協議会からも運営委員の一員として参加しています。

平成30年度のつつじ祭りは、予定通り5月2日(日)、5月13日(日)に開催が決定されました。予算については、市補助が総事業費の8分の4(半分)以内で実施となります。

意思決定の場に女性を!

小規模多機能自治研修会

2月28日(水)午後、ゆめほりすセンターで、今年度最後の「伊賀流自治研修会」が開かれました。

1月12日の課題別の「円卓会議」(写真)に続いて、今回は「自慢大会」と銘打ち、①諏訪②猪田③壬生野④布引⑤博要の5地域が持ち時間7分で事例を発表後、付箋紙を使った交流を行いました。



昨年度は当地域から女性部会の活動を報告しました。今年度はいがまちを代表して壬生野地域の発表(写真)がありました。

組織を見直す中で、各区から部会等に出てもらおうメンバーは男女半分半分を選出してもらい、部会等の組織の代表(実行委員長など)は女性にしてみらうことを条件にして取り組んでいるそうです。



既に社会では女性の管理職経験者も多くいる時代です。こうした方が進んで会議で発言するなどリーダーシップを発揮されており、男女共同参画の意識が高まっているそうです。



(写真の右から順に)

伊賀分団第1部旗と柘植まち協・半田代表
同 第2部旗と西柘植まち協・前川会長
同 第3部旗と壬生野まち協・塚協会長



いがまち消防団 新部旗披露式

3月11日(日)午後、いがまち公民館で、いがまち3地域まちづくり協議会から、消防団(伊賀分団の3つの部)に対して、新部旗(縦69cm×横85cm)が引き渡されました。

これまで使用していた旗は経年による損傷がたいへんひどかったため、消防団と3地域まち協が相談して、新しい旗の製作費を各区に要請し、このたび完成させたものです。



当日は、東日本大震災7年目の日ということで、命を奪われた多数の消防団員に対して全員で黙とうをしました。3地域を代表して半田三都生柘植まち協代表からのあいさつ、続いて消防団長のあいさつがあり、それに続いて部旗がそれぞれの部に手渡されました。

岡野分団長から心強い謝辞が述べられ、厳かに披露式は終了。伊賀分団は春の防火週間パレードへと出発しました。

よろしく頼むぞ、消防団!



**地域のために活動する
消防団員を応援しよう!**

★★★事務局だより★★★

▼この号がお手元に届く頃には温かくなるとの天気予報。最近の予報はビッグデータなどの解析もありよく当たります。▼人口減少や少子化が地域づくりの重要な関心事になっています。伊賀市人口はすでに予測以上に減っています。柘植地域や多くの区も同様。あと10年ほどは60代層の活躍でどうにかなるかもわかりませんが、その後はどうなるか、冷静に考えていただきたい。新年度を迎えるにあたり、事務局からのお願いです。(西田方計)